



2025年2月期 決算短信(日本基準)(連結)

2025年4月11日

上場会社名 株式会社 日本色材工業研究所
コード番号 4920 URL <http://www.shikizai.com/japanese/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥村 華代

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役企画・経理部長 (氏名) 霜田 正樹

TEL 03-3456-0561

定時株主総会開催予定日 2025年5月29日

配当支払開始予定日

2025年5月30日

有価証券報告書提出予定日 2025年5月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期の連結業績(2024年3月1日～2025年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期	17,632	17.2	489	10.8	367	9.9	216	45.7
2024年2月期	15,050	28.0	441	173.0	407	174.9	398	61.6

(注) 包括利益 2025年2月期 319百万円 (38.1%) 2024年2月期 515百万円 (68.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年2月期	103.21		5.9	2.2	2.8
2024年2月期	189.96		12.2	2.5	2.9

(参考) 持分法投資損益 2025年2月期 百万円 2024年2月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期	16,889	3,804	22.5	1,815.11
2024年2月期	17,087	3,526	20.6	1,682.87

(参考) 自己資本 2025年2月期 3,804百万円 2024年2月期 3,526百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年2月期	567	1,111	95	948
2024年2月期	1,251	438	697	1,375

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年2月期		0.00		20.00	20.00	41	10.5	1.3
2025年2月期		0.00		20.00	20.00	41	19.4	1.1
2026年2月期(予想)		0.00		20.00	20.00		10.2	

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,429	11.3	140	71.3	77	81.9	29	88.1	14.30
通期	16,877	4.3	411	15.9	276	24.7	411	90.1	196.23

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年2月期	2,099,376 株	2024年2月期	2,099,376 株
2025年2月期	3,596 株	2024年2月期	3,596 株
2025年2月期	2,095,780 株	2024年2月期	2,095,796 株

期末自己株式数

期中平均株式数

(参考)個別業績の概要

1. 2025年2月期の個別業績(2024年3月1日～2025年2月28日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期	12,442	21.3	554	151.4	422	61.5	190	
2024年2月期	10,261	18.1	220	60.5	261	70.6	89	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期	91.10	
2024年2月期	42.71	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期	12,978	2,735	21.1	1,305.26
2024年2月期	13,550	2,606	19.2	1,243.92

(参考) 自己資本 2025年2月期 2,735百万円 2024年2月期 2,606百万円

2. 2026年2月期の個別業績予想(2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,823	15.4	165	66.3	123	63.9	58.80
通期	11,282	9.3	242	42.6	410	114.8	195.72

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき記載しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想とは異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4の「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2024年3月1日～2025年2月28日)におけるわが国の経済は、前連結会計年度に新型コロナウイルス(COVID-19)の影響が軽減して正常化が大きく進みましたが、インフレによって実質賃金の伸びが抑えられるなど力強さを欠き、緩やかな回復に留まっております。海外各国では、欧米ではインフレ減速と金融緩和に向けた動きの中で緩やかな成長基調にあるのに対し、中国経済は引き続き不動産不況を背景に内需が低迷して成長に減速が見られるなど、地域間の跛行性が見られます。また、ロシアによるウクライナ侵攻や中東情勢の緊張の長期化もあって地政学的リスクは高止まり、米国の政権交代をきっかけに各国の各種政策リスクも上昇しております。資源・エネルギー価格の上昇・変動や物流の遅延等が日本を含めたインフレに影響、各国の金融政策への影響を通じて金利・為替・株式相場の変動も引き起こし、経済活動に影響を及ぼすと共に先行き不透明感を高めております。

化粧品業界におきましては、国内では、メイクアップ製品を中心に、インバウンド需要も大きかった新型コロナウイルスの感染拡大前を依然下回っておりますが、消費マインドも大きく改善し、緩やかな回復・改善傾向が続いております。昨年には新型コロナウイルス禍で低調だった新製品発売も大きく回復し、需要喚起に貢献したものと思われまます。海外においても、化粧品需要は緩やかながら改善の傾向にあるものと思われまます。

当社グループにおきましては、国内・海外化粧品メーカーからの受注は、特に国内で新型コロナウイルス禍明けの新製品発売に向けた受注の波や大口受注の獲得もあって第2四半期連結累計期間まで大きく伸びましたが、第3・第4四半期には一旦沈静化しております。つくば工場第3期拡張等の設備投資によって増強した生産設備の稼働も、第2四半期連結累計期間は大きく向上しましたが、その後足元は一旦低下しております。また、原材料費や人件費、各種経費等もインフレで上昇していることから、各種コスト圧縮努力や適正な価格転嫁努力を継続し、収益性の維持・改善に取り組んでおります。

今後も、化粧品需要の緩やかな回復・成長基調は継続していくと思われまますが、全般的なインフレ、採用難や人件費上昇、金利上昇や為替変動等も継続しており、ロシアのウクライナ侵攻や中東情勢、米国の政策リスクのような地政学的リスクも高止まりしていることから、引き続き経済全般の先行き不透明感が残ります。そのような経営環境下、黒字の継続と成長の実現に向けて「中期事業戦略ビジョン(2022-2026)」の諸施策を着実に実行してまいります。お客様の最新製品ニーズに対応した処方のご提供や生産対応などの要請に応え、中長期的には化粧品へのクリーン・ビューティー、SDGs等への対応といった当社の強みを更に強化するなど、変化し続ける環境で強みを活かして業績の改善を図るべく更なる努力を重ねてまいります。

以上の結果、当連結会計年度における経営成績は次のとおりとなりました。

売上高は、国内・海外向け受注の回復、特に国内での新型コロナウイルス禍明けの受注の波と海外からの大口受注を受けて、第3・第4四半期には沈静化したものの、前期比17.2%増の17,632百万円となりました。

利益面では、国内では引き続きつくば工場第3期拡張等により諸費用が高止まり、加えて原材料費や人件費、各種経費等がインフレで上昇している中で、第2四半期連結累計期間の受注増による生産設備の稼働向上と各種コスト圧縮努力により増益となりましたが、フランス連結子会社における化粧品受注の減速による業績低迷もあって、営業利益は前期比10.8%増の489百万円に、経常利益は前期比9.9%減の367百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税等調整額138百万円の計上もあって(前期は、繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額△210百万円(△は益)の計上)前期比45.7%減の216百万円となりました。

当連結会計年度における所在地別セグメントの業績の概況は、次のとおりです。

(日本)

新型コロナウイルス感染症の社会・経済への影響はほぼ解消、化粧品では一部影響は依然として残るものの需要は回復しつつあり、特にマスク着用規制撤廃を受けた国内化粧品メーカー各社からの受注や海外からの大口受注が第2四半期連結累計期間に大きく伸び、第3・第4四半期には沈静化したものの、売上高は前期比21.3%増の12,442百万円となりました。利益面では、引き続きつくば工場第3期拡張等による諸費用が高止まり、加えて原材料費や人件費、各種経費等もインフレで上昇している中ではありますが、第2四半期連結累計期間の受注の回復で生産設備の稼働は着実に向上、各種コスト圧縮努力もあって、営業利益は前期比151.4%増の554百万円となりました。セグメント資産は、第3・第4連結会計期間には受注の波が沈静化したことで棚卸資産が減少したことや、減価償却等で有形固定資産が減少したこと等もあり、前期比4.2%減の12,978百万円となりました。

(仏国)

子会社THEPENIER PHARMA & COSMETICS S.A.S.(以下「テプニエ社」と子会社Nippon Shikizai France S.A.S.(以下「日本色材フランス社」)の所在する欧州は、当連結会計年度(1～12月)において、景気は依然として低迷、化粧品受注の回復ペースが鈍化してユーロ建ての売上高は減収となりましたが、円安の為に円建ての売上高は前期比6.2%増の5,263百万円となりました。利益面では、ユーロ建て売上高の減収と人件費や諸物価の高騰に加えて、テプニエ社の一部設備稼働の遅れや日本色材フランス社の稼働低迷もあり、73百万円の営業損失(前連結会計年度は222百万円の営業利益)となりました。セグメント資産は、設備投資による有形固定資産の増加等もあって、前期比8.6%増の5,136百万円となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（流動資産）

当連結会計年度末における流動資産の残高は、6,734百万円（前連結会計年度末は7,134百万円）となり、前連結会計年度末に比べ399百万円減少いたしました。これは主に、新型コロナウイルス感染症の影響軽減で前連結会計年度から好調だった受注の波の沈静化に伴う棚卸資産の減少や流動性資金の圧縮等によるものですが、科目別では現金及び預金が444百万円、原材料及び貯蔵品が273百万円、商品及び製品が210百万円減少し、受取手形及び売掛金が467百万円増加したことによるものであります。

（固定資産）

当連結会計年度末における固定資産の残高は、10,154百万円（前連結会計年度末は9,952百万円）となり、前連結会計年度末に比べ201百万円増加いたしました。これは主に、設備投資により機械装置及び運搬具が328百万円、建物及び構築物が154百万円、工具、器具及び備品が110百万円増加し、建設仮勘定が244百万円、繰延税金資産の取り崩し等で投資その他の資産が113百万円減少したことによるものであります。

（流動負債）

当連結会計年度末における流動負債の残高は、6,245百万円（前連結会計年度末は6,810百万円）となり、前連結会計年度末に比べ565百万円減少いたしました。これは主に、仕入の減少に伴う買入債務の減少等によるものですが、科目別では電子記録債務が396百万円、支払手形及び買掛金が149百万円、流動負債のその他が180百万円減少し、短期借入金が107百万円増加したことによるものであります。

（固定負債）

当連結会計年度末における固定負債の残高は、6,840百万円（前連結会計年度末は6,749百万円）となり、前連結会計年度末に比べ90百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金による資金調達によるもので、長期借入金が188百万円増加したこと等によるものであります。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産の残高は、3,804百万円（前連結会計年度末は3,526百万円）となり、前連結会計年度末に比べ277百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等により利益剰余金が174百万円、その他の包括利益累計額が、為替換算調整勘定の増加もあって102百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は22.5%（前連結会計年度末は20.6%）となりました。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、948百万円となり、前連結会計年度末に比べ426百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、567百万円（前連結会計年度は1,251百万円の増加）となりました。これは主に、減価償却費908百万円、棚卸資産の減少額590百万円、税金等調整前当期純利益372百万円等による増加と、仕入債務の減少額596百万円、売上債権の増加額479百万円等による減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、1,111百万円（前連結会計年度は438百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,139百万円等による減少等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は、95百万円（前連結会計年度は697百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入れによる収入2,138百万円と長期借入金の返済による支出1,807百万円、短期借入金の純減少額93百万円、リース債務の返済による支出100百万円等によるものであります。

（4）今後の見通し

次期の経営環境におきましては、地域間の跛行性はあっても、景気は緩やかな回復・改善傾向が続くものと思われます。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻や中東情勢の緊張は長期化して地政学的リスクは高止まり、足元顕在化している米国を始めとする各国の各種政策リスクも当面継続することが予想されます。資源・エネルギー価格、諸物価や人件費の上昇や、金利や為替、株式相場の変動と共に、経済活動に影響を及ぼし、先行き不透明な状況が続くものと思われます。

化粧品市場におきましては、マスク着用規制撤廃後の受注の波は沈静化しましたが、消費マインドは大きく改善しており、化粧品需要は緩やかに回復・改善していくものと思われます。海外においても、化粧品需要は緩やかに改善していくものと思われます。化粧品ODMメーカーとして事業の成長を実現していくためには、国内外の消費者や化粧品メーカーのニーズに対応した新処方への提供や、新たな高付加価値処方への開発といった取組みを、着実に実施していくことが極めて重要と考えております。

当社グループは、新型コロナウイルスまん延の影響を受けて悪化した業績からの復活を目指して「中期事業戦略ビジョン(2022-2026)」を策定しましたが、その後半の成長ステージとして「コロナからの復活・回復のモメンタムを持続し、更なる成長へ」を掲げ、「競争優位にある「強み」製品の強化と拡大」、「クリーン・ビューティーへの積極取組」、ならびに「高収益体質への転換」を重点戦略として、積極的に取組んでまいります。

次期（2026年2月期）の連結業績見通しにつきましては、上記のような経営環境の下、受注の波の沈静化後の緩やかな回復・改善を見込み、通期の売上高は16,877百万円と前期比4.3%の減収（当期第3・第4四半期からは増収傾向）を見込んでおります。利益面では、受注増に伴う生産設備の稼働向上や各種インフレの単価反映、各種コスト圧縮努力等を継続し、また、一部不動産売却益の計上を見込むこともあって、営業利益411百万円、経常利益276百万円、親会社株主に帰属する当期純利益411百万円を見込んでおります。

なお、今後のロシア・ウクライナ情勢や中東情勢の展開、米国や各国の貿易・関税政策を始めとする各種政策や景気動向、インフレや金利・為替・株式相場等の経済環境などが不透明な中、次期連結業績見通しは変動する可能性があります。

（5）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループでは、資本効率の改善を通じて企業価値の向上を目指す中で、重要なステークホルダーである株主の皆様への利益還元を経営における重要課題の一つとして認識し、継続的かつ安定した配当を実現することを基本方針として、業績の伸展状況に応じて利益配分を行ってまいります。

また、株主の皆様の中長期的な利益には、継続的かつ安定的な配当に加えて、企業価値の向上によって株価を維持・上昇させていくことも必要と考えております。そのためには、収益性の向上に加え、新型コロナウイルス感染症のまん延による業績悪化で大きく下がった自己資本比率/財務安定性を回復させて持続的成長を実現していくことも必要と認識しており、配当の金額につきましては、利益の水準と、自己資本の充実に向けた内部留保の双方を勘案した上で実施していく方針です。

当連結会計年度末の配当につきましては、引き続き内部留保による自己資本の充実も勘案させていただく中で、親会社株主に帰属する当期純利益が前期（2024年2月期）よりも減益となりましたが、従来のご予想どおり1株当たり20円とする予定です。次期（2026年2月期）期末の配当につきましては、引き続き先行き不透明な要因もありますが、前記の連結業績見通しのおり親会社株主に帰属する当期純利益を見込んでいることから、1株当たり20円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当連結会計年度 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,393,795	949,024
受取手形及び売掛金	2,234,430	2,701,470
電子記録債権	149,087	202,637
商品及び製品	1,136,929	926,407
仕掛品	319,150	257,689
原材料及び貯蔵品	1,651,265	1,378,172
その他	251,695	322,017
貸倒引当金	△2,220	△2,651
流動資産合計	7,134,132	6,734,766
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,462,508	11,005,620
減価償却累計額	△5,748,109	△6,136,567
建物及び構築物（純額）	4,714,399	4,869,053
機械装置及び運搬具	5,539,429	6,227,388
減価償却累計額	△4,036,564	△4,396,283
機械装置及び運搬具（純額）	1,502,864	1,831,104
工具、器具及び備品	1,343,505	1,574,547
減価償却累計額	△995,229	△1,115,734
工具、器具及び備品（純額）	348,275	458,812
土地	2,027,748	2,028,486
建設仮勘定	438,406	193,408
有形固定資産合計	9,031,693	9,380,866
無形固定資産	260,467	226,271
投資その他の資産		
投資有価証券	293,661	259,060
繰延税金資産	235,239	108,730
その他	145,712	182,429
貸倒引当金	△13,837	△2,727
投資その他の資産合計	660,776	547,494
固定資産合計	9,952,938	10,154,631
資産合計	17,087,070	16,889,398

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当連結会計年度 (2025年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	904,894	754,979
電子記録債務	1,387,301	990,634
短期借入金	2,913,451	3,020,834
リース債務	98,127	86,750
未払金	905,149	946,731
賞与引当金	70,203	74,974
役員賞与引当金	—	19,000
その他	531,648	351,302
流動負債合計	6,810,777	6,245,206
固定負債		
長期借入金	6,147,558	6,335,667
リース債務	355,859	289,260
役員退職慰労引当金	146,430	146,430
退職給付に係る負債	95,609	67,311
その他	3,908	1,454
固定負債合計	6,749,365	6,840,124
負債合計	13,560,143	13,085,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,510,339	1,510,339
利益剰余金	1,544,397	1,718,780
自己株式	△3,983	△3,983
株主資本合計	3,150,752	3,325,135
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	118,294	97,850
為替換算調整勘定	257,880	381,079
その他の包括利益累計額合計	376,175	478,930
純資産合計	3,526,927	3,804,066
負債純資産合計	17,087,070	16,889,398

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
売上高	15,050,063	17,632,212
売上原価	13,034,123	15,439,607
売上総利益	2,015,939	2,192,604
販売費及び一般管理費	1,574,198	1,703,353
営業利益	441,741	489,251
営業外収益		
受取利息	10	1
受取配当金	8,096	7,286
為替差益	33,426	—
補助金収入	30,901	13,028
受取家賃	—	24,602
雑収入	21,694	22,107
営業外収益合計	94,130	67,026
営業外費用		
支払利息	128,033	160,146
為替差損	—	28,792
営業外費用合計	128,033	188,939
経常利益	407,838	367,338
特別利益		
固定資産売却益	7,614	449
投資有価証券売却益	—	9,169
特別利益合計	7,614	9,618
特別損失		
固定資産除却損	3,468	4,077
減損損失	125,747	—
特別損失合計	129,216	4,077
税金等調整前当期純利益	286,237	372,879
法人税、住民税及び事業税	99,120	18,219
法人税等調整額	△210,996	138,360
法人税等合計	△111,876	156,580
当期純利益	398,113	216,299
親会社株主に帰属する当期純利益	398,113	216,299

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2023年3月1日 至 2024年2月29日）	当連結会計年度 （自 2024年3月1日 至 2025年2月28日）
当期純利益	398,113	216,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41,943	△20,444
為替換算調整勘定	159,364	123,199
その他の包括利益合計	117,421	102,755
包括利益	515,535	319,054
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	515,535	319,054
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	1,510,339	1,146,283	△3,918	2,752,703
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			398,113		398,113
自己株式の取得				△64	△64
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	398,113	△64	398,048
当期末残高	100,000	1,510,339	1,544,397	△3,983	3,150,752

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	160,238	98,515	258,753	3,011,457
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益				398,113
自己株式の取得				△64
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△41,943	159,364	117,421	117,421
当期変動額合計	△41,943	159,364	117,421	515,470
当期末残高	118,294	257,880	376,175	3,526,927

当連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	1,510,339	1,544,397	△3,983	3,150,752
当期変動額					
剰余金の配当			△41,915		△41,915
親会社株主に帰属する当期純利益			216,299		216,299
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	174,383	—	174,383
当期末残高	100,000	1,510,339	1,718,780	△3,983	3,325,135

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	118,294	257,880	376,175	3,526,927
当期変動額				
剰余金の配当				△41,915
親会社株主に帰属する当期純利益				216,299
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△20,444	123,199	102,755	102,755
当期変動額合計	△20,444	123,199	102,755	277,138
当期末残高	97,850	381,079	478,930	3,804,066

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2023年3月1日 至 2024年2月29日）	当連結会計年度 （自 2024年3月1日 至 2025年2月28日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	286,237	372,879
減価償却費	855,498	908,865
のれん償却額	18,808	—
減損損失	125,747	—
賞与引当金の増減額（△は減少）	△15,358	4,770
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	—	19,000
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△1,486	△32,919
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,800	△11,061
受取利息及び受取配当金	△8,107	△7,287
支払利息	128,033	160,146
投資有価証券売却損益（△は益）	—	△9,169
固定資産売却損益（△は益）	△7,614	△449
固定資産除却損	3,468	4,077
売上債権の増減額（△は増加）	△126,910	△479,669
棚卸資産の増減額（△は増加）	△598,268	590,033
仕入債務の増減額（△は減少）	429,695	△596,184
未払金の増減額（△は減少）	278,371	69,903
未払消費税等の増減額（△は減少）	58,008	△10,157
その他	△19,808	△95,194
小計	1,408,116	887,583
利息及び配当金の受取額	8,107	7,288
利息の支払額	△128,554	△160,412
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△36,570	△166,668
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,251,099	567,790
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	103,000	18,000
有形固定資産の取得による支出	△659,309	△1,139,940
有形固定資産の売却による収入	142,580	594
無形固定資産の取得による支出	△24,309	△3,078
投資有価証券の取得による支出	△322	—
投資有価証券の売却による収入	—	12,558
投資活動によるキャッシュ・フロー	△438,361	△1,111,866
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	417,060	△93,127
長期借入れによる収入	1,257,332	2,138,410
長期借入金の返済による支出	△2,274,145	△1,807,156
リース債務の返済による支出	△97,677	△100,884
配当金の支払額	—	△41,779
その他	△64	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△697,496	95,458
現金及び現金同等物に係る換算差額	32,035	21,715
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	147,278	△426,903
現金及び現金同等物の期首残高	1,228,503	1,375,781
現金及び現金同等物の期末残高	1,375,781	948,877

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に化粧品等を生産しており、国内においては当社が、仏国においてはTHEPENIER PHARMA & COSMETICS S.A.S.及びNippon Shikizai France S.A.S.が、取り扱う製品について包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、生産体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」及び「仏国」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

セグメント間の内部売上高及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2023年3月1日 至 2024年2月29日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1、2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	日本	仏国	計		
売上高					
日本向け	9,298,451	32,600	9,331,052	△873	9,330,178
日本以外向け	962,838	4,922,679	5,885,517	△165,633	5,719,884
顧客との契約から生じる収益	10,261,290	4,955,279	15,216,570	△166,507	15,050,063
外部顧客への売上高	10,095,657	4,954,405	15,050,063	—	15,050,063
セグメント間の内部売上高又は振替高	165,633	873	166,507	△166,507	—
計	10,261,290	4,955,279	15,216,570	△166,507	15,050,063
セグメント利益	220,676	222,299	442,975	△1,234	441,741
セグメント資産	13,550,478	4,727,547	18,278,026	△1,190,955	17,087,070
その他の項目					
減価償却費	541,957	313,541	855,498	—	855,498
減損損失	—	125,747	125,747	—	125,747
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	390,672	423,966	814,638	—	814,638

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,234千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント資産の調整額△1,190,955千円は、セグメント間の連結調整の影響額であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2024年3月1日 至 2025年2月28日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1、2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	日本	仏国	計		
売上高					
日本向け	9,222,446	2,180	9,224,626	△2,180	9,222,446
日本以外向け	3,220,423	5,261,549	8,481,972	△72,206	8,409,765
顧客との契約から生じる収益	12,442,869	5,263,729	17,706,599	△74,386	17,632,212
外部顧客への売上高	12,370,662	5,261,549	17,632,212	—	17,632,212
セグメント間の内部売上高又は 振替高	72,206	2,180	74,386	△74,386	—
計	12,442,869	5,263,729	17,706,599	△74,386	17,632,212
セグメント利益又は損失（△）	554,867	△73,263	481,603	7,647	489,251
セグメント資産	12,978,717	5,136,247	18,114,965	△1,225,567	16,889,398
その他の項目					
減価償却費	566,897	341,968	908,865	—	908,865
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	403,096	708,644	1,111,741	—	1,111,741

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額7,647千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント資産の調整額△1,225,567千円は、セグメント間の連結調整の影響額であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
1株当たり純資産額	1,682.87円	1,815.11円
1株当たり当期純利益	189.96円	103.21円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	398,113	216,299
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 利益（千円）	398,113	216,299
普通株式の期中平均株式数（株）	2,095,796	2,095,780

（重要な後発事象）

該当事項はありません。